

平成 20 年度事務事業評価表(内部管理業務)

①事務事業名		担当部課	部課コード	140500	TEL	2998-9262
事業コード	例月現金出納検査事業		0	監査事務局		
140505		グループ	監査グループ			

総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向けて	施策	4節 財政運営	中柱	4 財務の透明性の確保	小柱	(2) 財務管理・監査の充実
---------	----	---------------	----	---------	----	-------------	----	----------------

行政改革大綱における行動計画への位置づけ

コード	事務改善活動等の充実・強化	コード		コード	
3621					

目的(何のために行うのか、具体的に)

公正で合理的かつ能率的な行政運営確保のため、会計管理者及び企業管理者の保管する現金の在 high と出納関係諸表等の計数の正確性を検証するとともに、出納事務が適正に行われているかを毎月例日を定めて検査する。

②事業の内容	一般会計、特別会計、基金、水道事業会計、病院事業会計	対象数	単位	平成 18 年度	26	会計・基金
				平成 19 年度	25	会計・基金

業務の具体的な内容及び実施方法

- ・毎月ごとに、出納関係諸表、収支伝票などの証拠書類等の係数確認を行う。
- ・会計管理者、企業出納員の説明聴取を行う。
- ・市長、議会に検査結果報告書を提出する。

H	コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない
---	---------	------------------------------	------------------------------	--	----------	------------------------------	------------------------------	--

19	20年度予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 終了
----	------------	---	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------

平成19年度中に改善した点

より効率的で効果的な検査が実施できるよう、検査方法等について検討した。

経費	<会計種別>	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,492	1,470	1,512
	決算(見込み含む)		1,390	1,444	
	含む人件費(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費	2.10 人	19,320	2.10 人	19,727
	事業費合計		20,710	21,171	
	市民一人当たり(単位:円)		61.3	62.4	

④指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
標	活動実績	出納検査を実施後、報告書を作成し公表した会計・基金数	会計・基金	26	25	25	
	成果分析	出納検査を実施後、報告書を作成し公表した会計・基金数/法により審査を実施しなければならない会計・基金数	会計・基金	26	25	25	
			%	100.0	100.0		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

評価項目	見直しの必要性	評価理由及び対応策
コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	人件費以外ほとんど予算を要しない事業であり、コストの見直しは難しい。
実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	法定事務であるため見直しの必要性はほとんどないが、効率的で効果的な監査を実施していく。

業務を進めていくうえでの課題

⑤ 昨今、行政に対するチェック機能として監査の役割が高まっている。

次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定 一般会計、特別会計、基金及び水道、病院会計の前月末の現金の在 high 及び計数が適正に処理されているかを検査する。	検査結果報告書を作成し、公表する。	毎月末

21年度予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 終了
------------	---	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------

昨年度の評価結果及び上記評価による、今後の業務の進め方

職員は、常に研修等により監査技術の向上を図り、法令等に精通するとともに、監査対象についてあらかじめ十分研究する。

評価日	平成20年5月13日	記入者職氏名	監査事務局次長 忍足 俊二
-----	------------	--------	---------------

⑥環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
施策の体系	施策の方向		